



『輝け みんなの笑顔 巻き起こせビッグウェーブ 熱き思いよ波となれ』をテーマに開催された山田中学校「わだつみ祭」



黒沢一成議員

## 教育行政

# 町内でいじめはあるか

## 問題となる深刻な事例はない

**質問** 最近、いじめに関する報道が頻繁である。今のいじめは陰湿であるとの見解も聞き、学校・文科省がいじめへの認識のあまさが指摘されている。また、

民間団体による調査では、「いじめを行う方が悪い」と考える子供は小・中・高と年代が上がるに従い少なくなり、高校では半数以下になるとの結果がでたとの

## 町の考えを聞く

こと。そこで次の点について問う。

- ① 町内の小中学校でいじめを認識した事例があるか。
- ② いじめと認識する判断基準はどのようなものか。
- ③ いじめに対する対処をどのように考えているか。

### 松尾教育長

① 全く無いわけではないが、問題となるような内容のものは報告を受けていない。各小中学校では、事実が認識されたい、保護者、教育委員会と連携を取りながら対応している。

② 以前は「自分より弱い者に対して一方的に、身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているもの」とされていたが、現在では、相手に悪意がなくふざけて、からかわれた場合でも、本人が「心に痛みを感じ、いじめられて

いる」と思えばいじめとして対応している。

③ 児童生徒には、「いじめは人間として絶対に許されない」「いじめをはやし立てたり、傍観したりする行為も同様に許されない」「いじめの事実を大人に伝えることは正しい行為である」の三点について指導している。

また、県からの通知による児童生徒・保護者を対象としたアンケートを実施し、その結果を集約し対応をさらに検討していく。

### 質問

子供達の年齢が低いほど教師の影響力は大きく、教師の適性が求められる。先生がいじめの原因になつていないか。

### 松尾教育長

教師がいじめの原因となるような事は、絶対あってはならないことであり、そのように徹底している。